

Voice of Resident

研修医の声

T.MASUDA × M.ASO × H.ODA × K.YASUE

須藤流「モーニングレポート」で鑑別のスキルがグングン上がる! 自らの「考える力」が瞬時の判断力やプレゼン力につながる!

救急外来で症例を10回診ると
同じくらいの効果をもつ
「モーニングレポート」

当院の臨床研修の特徴である「モーニングレポート」について
教えてください。

麻生医師 研修管理委員長の須藤博医師が研修医向けに直接
指導を行う症例検討のレクチャーで、週3回臨床研
修医と後期研修医、指導医数名が参加して行われ
ます。

朝8時から約1時間、須藤医師の司会進行のもと、
研修医が救急外来で診た症例を発表し、他の研修
医がアプローチや鑑別についての考えを述べてい
きます。

安江医師 研修医は月に一度発表していくペースですが、症例
を見つけて準備する過程は大変です。でも症例を掘
り下げ、須藤医師からの指摘を減らせるよう詳細を
詰めていくプロセスが「考える力」を養うことにつな
がります。限られた時間の中で重篤度や緊急性を見

抜く力や、瞬時の判断力やプレゼン力が養われ、現
場であまり動じなくなったように思います。

ある上級医から「モーニングレポートを1回経験する
のは、救急外来で症例を10回診ると同じくらいの
効果があるよ」と言われました。自分の頭で考える
習慣と力が備わっていくと感じます。

小田医師 モーニングレポートを通じて教わった聴診や打診の
方法、病歴の聞き方など、すぐに実践しやすいです。

増田医師 モーニングレポートの意義の一つに、フィードバック
があると思います。発表時の指摘によって、現場で
聞きもらしていたことや、実施できていなかったこと
が明確になり、それを踏まえて次回に臨むことがで
きます。

研修プログラムの柔軟性が高く 先生との意見交換がしやすい環境

研修プログラムや研修内容の良さはどんなところにあると感じ
ていますか?



増田 卓也 医師
出身:久留米大学



麻生 満広 医師
出身:慶應義塾大学